<令和８年１１月定例記者会見>

１　開催日時

令和８年１１月６日（金）午前１０時３０分～午前１１時００分

２　場所

滝沢市役所　庁議室

３　来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、岩手日報社

４　発表事項

（１）「滝沢ミライプロジェクト２０２６」中間発表会の実施について（若者活躍推進室課）

本市では、市に関わりを持ちたい高校生や専門学生、大学生が、地域のヒト・コト・モノを体験しながら仲間とアイデアを磨き、挑戦した結果を発表することで、若者が自分らしく活躍できる場所を創出することを目的とした「滝沢ミライプロジェクト２０２６」を実施しております。

本プロジェクトには大学生１４名が参加しており、本年９月から活動を開始しました。参加者同士でアイデアを共有してチームを形成するアイデア交流会を経て、現在は各チームが決定したテーマに対し、関係機関などからの情報を集めながら、実践活動の実施に向けて具体的な計画を作成しています。

この度、中間発表会を１１月７日（土）に滝沢市ＩＰＵ第２イノベーションセンターにおいて開催します。中間発表会では、取り組みたいテーマや今後の実践活動の計画について発表し、チームが取組むことを宣言します。ぜひ、学生の想いをお聞きください。なお、中間発表会後は１１月下旬まで実践活動を行い、その結果の発表会を１２月１２日（土）に成果発表会を開催する予定です。

本事業の周知及び当日の取材につきまして、よろしくお願いいたします。

（２）市内中小企業等のＩＴ・ＤＸ化に向けたセミナーの開催について（企業振興課）

本市では、昨年度より岩手県立大学及び滝沢市ＩＰＵイノベーションパーク内で活動しているＩＴ企業のポテンシャルを活かし、市内中小企業等におけるＤＸに関連した課題解決やＩＴ人材の育成を図ることを目的とし、ＩＴ産業人材育成モデル事業の「ＩＴ(アイティー) ＢＲＥＤＧＥ(ブリッジ) ＢＡＳＥ(ベース)」を開催します。

本事業は、岩手県立大及びパークに立地する多くのＩＴ関連企業が、市内中小企業における企業の課題解決を支援し、ＩＴ産業人材を育成する本市の特色を活かしたモデル構築事業であり、事業の推進において対象とする市内中小企業等だけではなく、支援するＩＴ企業や県立大学生の人材育成を図るものです。

本事業の今年度の導入といたしまして、１１月１１日（水）に岩手県立大学において、ＤＸ関連課題解決やＩＴ人材育成に関心のある方を対象としたセミナーを昨年度に引き続き開催いたします。

３回目となる今回のセミナーでは、仕事の流れをＡＩで見える化し、ＡＩ でマニュアルを作成する体験型のＩＴ産業人材育成セミナーのほか、地元企業のＤＸ事例の紹介、ＩＴに関するよろず相談会、ＤＸ化個別支援を実施いたします。また、セミナーの開催と今後実施していくＤＸ化個別支援には、大学生にアルバイトとして参画して

いただき、ＤＸ化支援の実務を体験させるなどＩＴ人材の育成に併せて取り組むこととしております。

事業の周知及び当日の取材につきまして、よろしくお願いいたします。

（３）菊川産業祭２０２６への物産ＰＲに係る出展について（観光物産課）

１１月１５日（日）に静岡県菊川市において開催される「菊川産業祭２０２６」に、市及び（一社）滝沢市観光物産協会が市特産品ＰＲを目的に出展いたします。

この出展は、当市が菊川市と「災害時等の相互応援に関する協定」を締結しており、農産物による産地交流と相互連携の強化を期待し、令和元年度から実施しているものです。

当日は滝沢市の特産品である「りんご」のほか、滝沢りんごワイン‐ポム‐やポム・シードル、滝沢りんごのジャムやりんごジュースなどの加工品も販売いたします。

当市といたしましても、菊川市との連携の強化を図るとともに、東海圏でのシティープロモーション、物産ＰＲを行う絶好の機会と捉えておりますので、取材につきまして、よろしくお願いいたします。

（４）「チャグジョブ滝沢２０２６」の開催について（企業振興課）

滝沢市商工会青年部・滝沢市商工会主催の「チャグジョブ滝沢２０２６」を滝沢総合公園体育館にて、１１月２９日（日）に開催することとしております。

本イベントは、職業体験イベントを通して市内企業等の周知を図るとともに、地域への愛着と経済の循環を促し持続可能な地域の発展に寄与することを目的として実施するものです。通算４回目となる今回からは、市内およびその近郊の小中学生とその保護者を対象とし、親子で学ぶ機会の創出を図ります。

当日は市内事業者を中心とした２１者が出展予定であり、お仕事体験を受け入れることとなっています。なお、本イベントは事前申込が可能です。既に申込は開始しており、１１月１５日（日）午後１０時締切となっております。チラシのＱＲコードまたは滝沢市商工会青年部ＨＰからお申し込みください。

事業の周知及び取材につきまして、よろしくお願いいたします。

（５）「たきざわ大地の恵み“まるっと晩さん会”２０２６」の開催について（観光物産課）

令和８年度滝沢市地産地消イベント事業「たきざわ大地の恵み“まるっと晩さん会”２０２６」を１２月２日（水）に開催いたします。

これは、リンゴやサツマイモなど本市の特産品のほか本市に関わる食材を使用した飲食イベントを開催し、生産者や事業者、飲食店関係者間の商談の機会とするとともに、消費拡大及び認知度向上を図ることを目的に実施するものです。

まるっと晩さん会は令和５年度に初めて開催し、４回目の開催となる今回は、生産者や加工品製造者、事業者や飲食店、金融機関等の関係者６０～７０名ほどをご招待する予定としておりますが、一般の方の参加はございません。

また、当日のメニューにつきましては、滝沢産の豚肉や野菜を中心にした構成を予定しており、１５品程度の提供を予定しております。

滝沢の大地の恵みを様々な調理法で参加者の皆様に楽しんでいただきつつ、生産者と事業者がマッチングするきっかけとなるイベントになるよう進めておりますので、ぜひ報道関係者の皆様にも取材にお越しいただければと思います。

５　市発表案件について記者からの当日質問

記者：滝沢ミライプロジェクトに参加しているのは、市内大学の学生だけですか。

若者活躍推進室長：県立大学の学生が多数ですが、盛岡大学や岩手大学の学生も参加しています。滝沢市出身で、山形県内の大学に通う学生の参加もあります。

記者：現在、活動しているチームの数を教えてください。

若者活躍推進室長：現在は１３チームです。今後の実践活動の中でチームが合流する可能性もあり、最終的なチーム数は変わる場合があります。

記者：チャグジョブ滝沢について、昨年度までと比べて、参加対象はどう変わりましたか。

企業振興課長：昨年度までは小学生が対象でしたが、今回は一部の出展企業で、中学生や保護者も参加できるようにしています。保護者にも楽しんでいただくため、子どもと一緒に体験できるブースを用意しています。

記者：中学生や保護者には、どのような機会にしてほしいと考えていますか。

企業振興課長：中学生には、仕事体験を通じて将来の進路を考える材料にしてほしいと考えています。また、保護者にも、市内の中小企業を知ってもらう機会にしたいとしています。

記者：まるっと晩さん会について、出展するのは、商工会の会員事業者だけですか。

企業振興課長：商工会の会員事業者が中心ですが、消防署や警察署などの公共機関も出展します。

記者：まるっと晩さん会について、参加する生産者や事業者は、滝沢市内の方が中心ですか。

観光物産課長：市内の生産者が中心です。加工業者などには、市内に限らず県内にも広く呼びかけています。今回は食育基本法が改正されたため、学校給食関係者にも参加を呼び掛け、地産地消や食育の推進につなげたいとしています。

記者：これまでの開催では、どのような成果がありましたか。

観光物産課長：開催後のアンケートでは、商談が成立した事例が確認されています。また、市の特産品を使った新しい商品の開発にもつながりました。市の新しい特産品については、１２月の定例記者会見での発表を予定しています。農産物をそのまま販売するだけでなく、加工などによって付加価値を高めることにも期待しています。